

事務事業名		都市公園太陽光発電照明灯整備事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	01:潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間		予算科目				
	施策名	02:良好な生活空間の創造					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	04:公園・緑地の整備			☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 (計画期間) 22 年度～ 23 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	08	05	04	11
根拠法令	都市公園法第2条の3										
所属	部課名	都市整備部都市計画課									
	係名	公園緑地係	電話内線	0192-27-3111 323							
	事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画 (※期間限定複数年度のみ)					
都市公園の照明灯を既存の照明灯を撤去し、太陽光発電方式に切り替えるとともに、LED電球化することにより、電力消費量を抑え、CO2の削減を図る。 また、市民生活の中でもっとも身近にある公園施設への省エネ設備導入により、市民の環境保持対策への意識を高める。 主な業務は、①補助金申請事務、②工事の設計と積算、③工事発注及び契約、④工事監理、⑤完成検査と工事費の支払いである。 事業費は、太陽光照明灯整備の工事費用として支出される。 市内23都市公園で整備					総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			73,935,000
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計 (A)			73,935,000
人件費	正規職員従事人数			2							
	延べ業務時間			500							
	人件費計 (B)			2,000							
	トータルコスト(A)+(B)			73,937,000							

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段 (主な活動)		名称	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		単位	
		ア 太陽光発電照明灯整備公園数	
		イ	
		ウ	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)			
大船渡町、盛町の11公園での整備工事			
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		(6) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
太陽光発電照明灯		名称	
		単位	
		カ 太陽光発電照明灯整備基数	
		キ	
		ク	
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
都市公園の太陽光発電照明灯整備により、誰でも安全で快適に利用できるようにする。		名称	
		単位	
		サ 太陽光照明灯整備率	
		%	
		シ	
		ス	
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
公園・緑地が確保されている。			

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円					
			都道府県支出金	千 円					35,303
			地方債	千 円					
			その他	千 円					
			一般財源	千 円					
		事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	35,303	
	人件費	正規職員従事人数	人					2	
		延べ業務時間	時 間					500	
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	0	2,000	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	0	0	37,303	
⑤活動指標	ア	箇所					11		
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	基					25		
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	%					50		
	シ								
	ス								

事務事業ID	1418	事務事業名	都市公園太陽光発電照明灯整備事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
都市公園の照明灯を太陽光発電方式に切り替えるとともに、LED電球化することにより、消費電力量を押さえ、Co2の排出削減を図るため事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
市民の環境問題への意識が高まる中で、市内都市公園では既存の照明灯が多くあった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
地区及び地域公民館や公園利用者から切り替えの要望が寄せられている。

2 評価の部 (SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 公園施設の整備により、利用者が安全かつ快適に利用できるようになり、都市環境の改善につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共の施設として市が設置し、管理運営している公園である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は、施設の安全性を高めるために、老朽化照明灯の更新が必要な公園である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 早期に事業を実施のうえ整備を推進し、整備効果の早期発現を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 施設の老朽化が進行し、公園利用率の低下や周辺住宅地からの苦情の増加が予想される。施設の安全性に問題が残ることになり、事故発生の要因ともなりうる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 現在実施している事業で類似の事業は無い。 ☒ 他に手段がない ⇒ [理由]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 環境保持への意識を高めるためには必要最低限の事業費としており、事業費の削減余地はきわめて低い。無理に削減をすることになれば、施設本体の質的な面での低下が避けられない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 設計監理業務の委託は可能であるが、技術職員の事務量や経費面からの検討が必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公園は一般に開放されているため、受益機会は公平である。また、不特定多数の人が利用する公共施設であるため、一部の有料公園の施設使用料以外に受益者負担はない。

事務事業ID	1418	事務事業名	都市公園太陽光発電照明灯整備事業
--------	------	-------	------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 有効な事業導入により行っている事業であり、予定の工事を終えている。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 有効な事業を導入し、太陽光発電照明灯を整備により施設の安全性を高めていく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 有効な事業での実施であり特に課題はない。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	都市計画課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業の導入による都市公園の整備であることから、対象となる公園、また、事業年度も限定されているが、事務執行については適切になされている。																				
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 可能な限り早期着工に努め、供用する。																				
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
